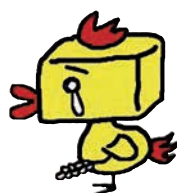


# 農業の担い手確保育成、経営の円滑な継承を通じ 道央地域の農業振興をサポート

## 江別市

観光協会認定キャラクター  
「えべチュン」



## 千歳市

市キャラクター  
「たまらん・たまりん」



## 恵庭市

市キャラクター  
「えびすくん・かりんちゃん」



## 道央農業 振興公社

## 北広島市

イメージマスコット  
「エルフィン」



## JA道央

イメージキャラクター  
「どんなちゃん」



# (公財)道央農業振興公社の概要

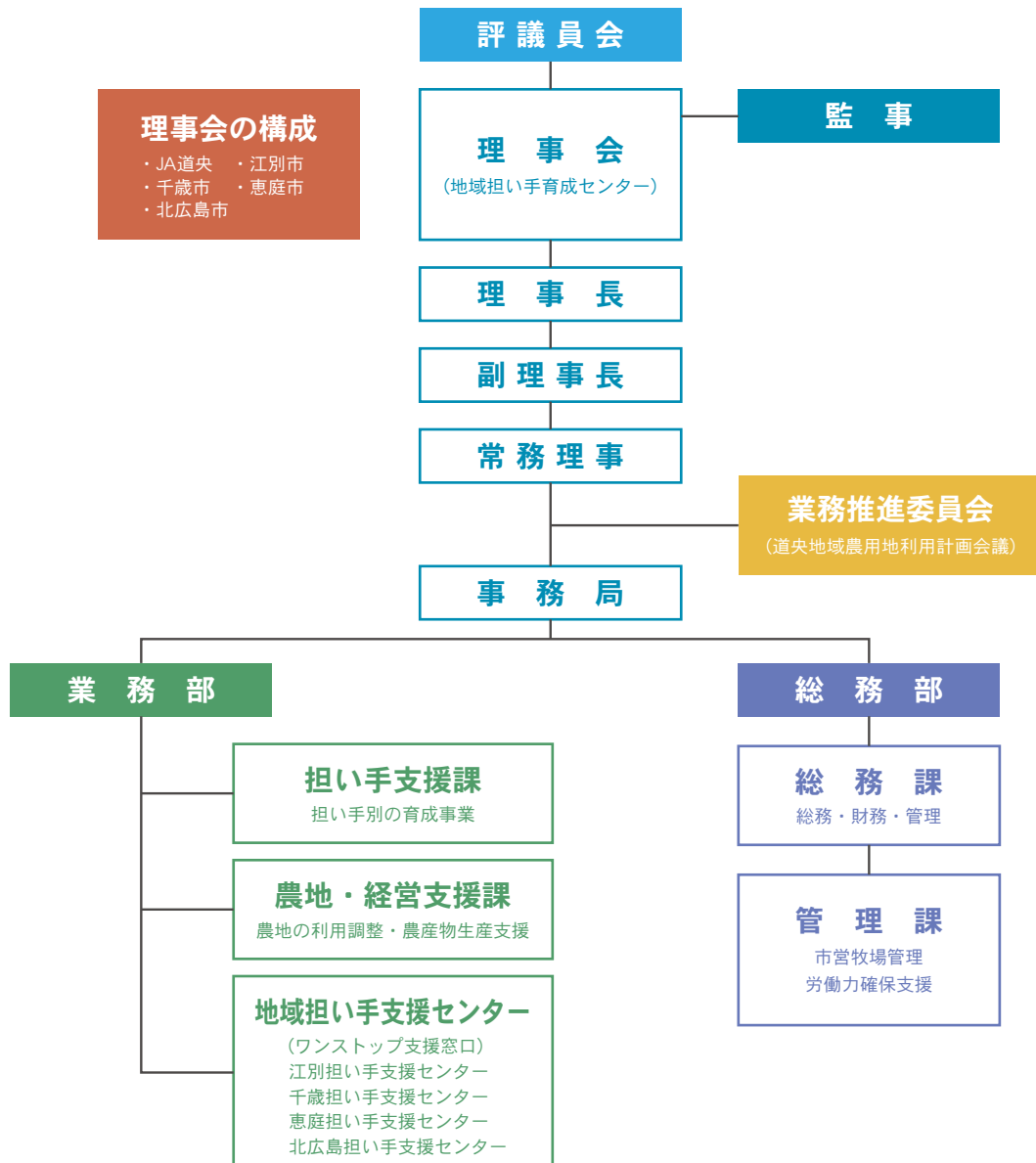
## 道央農業振興公社とは

公益財団法人道央農業振興公社は、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、JA道央の出資により、農業・農村の持続的発展と農業の多面的機能の発揮に寄与することを目的に、平成17年5月に設立された法人で、平成25年に公益財団法人へ移行しました。

当公社管内は大消費地の札幌市に隣接する地域にあり、16,400haの農地で水稲、畑作、露地野菜などの土地利用型農業をはじめ、集約型農業の施設園芸、酪農、畜産など、多様な農業を展開しています。農畜産物取扱高は約150億円であり、このうち野菜(青果園芸)の割合が最も高く、約45%を占めています。

当公社では、活力ある農業・農村の形成や地域の農業振興をサポートするため、「地域農業を支える多様な担い手の育成」や「農用地の利用調整事業」を基軸とし、生産性の向上と安全安心な農産物の生産支援、農業労働力確保の支援事業、市営牧場の受託管理事業などを行っています。

## 組織機構



## 農業の担い手対策

### 新規就農対策(公社新規就農研修)

- 農業経験がゼロでも就農をめざして学べる研修を行っており、道央地域での就農(独立自営または雇用就農など)を志すおおむね35歳以下の者を対象としています。
- 1年目は公社のトレーニング農場で基礎的な栽培技術や農業の基本的な知識を学び、2・3年目はより実践的な技術を身に着け、就農希望地の一員となるための信頼を築くため、先進農家の指導により研修を行います。
- 公社の1.6haほどのトレーニング農場では、JA道央管内の主要作物のうち野菜や花きを中心に栽培しており、専任の技術指導員が栽培管理や収穫・調製等の技術を指導しています。
- 研修期間中は、月1回程度、座学や視察研修により見聞を広めるほか、道立農業大学校などの研修にも参加します。
- 研修期間中は研修手当を支給するほか、国が行う施策を活用することで就農に向けた準備を支援します。

1年目	2～3年目	4年目
公社農場で基礎的な技術を研修 (公社から研修手当を支給) 月額16万円×8か月	先進農家で実践的な技術を研修 (国が行う施策を活用)	就農 (独立自営又は雇用)

- 平成20年に研修事業をスタートしてから、これまでに60名以上を受け入れ、そのうち30名以上が道央地域で就農しています。

### 農業後継者対策(ニューファーマー育成研修)

- JA道央の正組合員の子弟でおおむね35歳未満の新規学卒またはUターンなどの農業後継者を対象に、平成22年度から実施しており、農協が研修生を準職員として雇用し、親元の農作業の繁閑に左右されることなく研修を受けることができる環境を整備しています。
- 1年目は組合員としてではなく、職員という視点から農協の様々な業務を体験することにより農協事業への理解を深めてもらったり、就農地域の先進的農家の下で実践的な技術を研修します。
- 研修期間中は、新規就農研修生とともに月1回程度の座学や視察研修に参加するほか、JAカレッジで開催される短期研修などへ参加し、幅広く学びます。

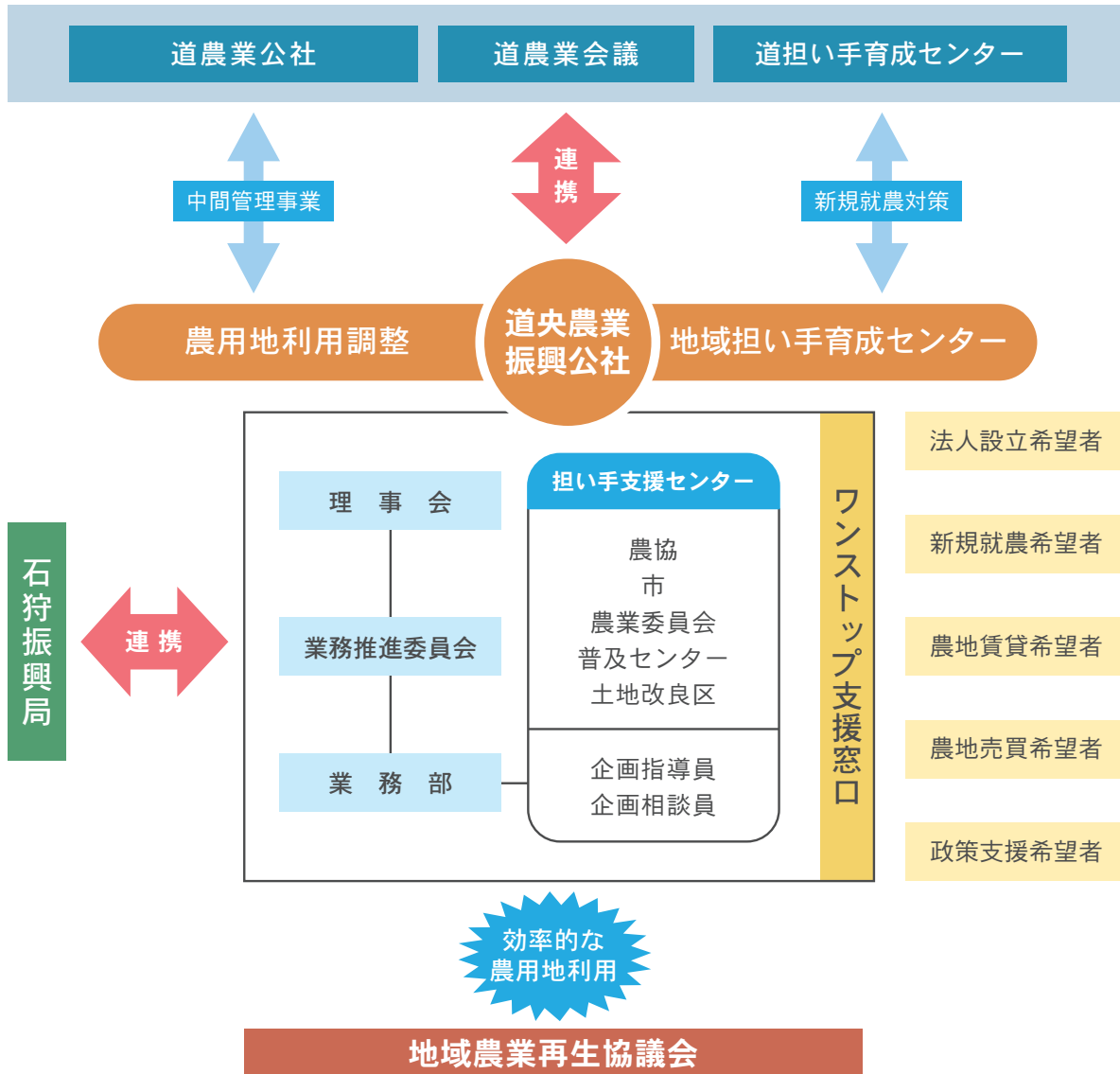
### リーダー育成対策(道央農業塾)

- 認定農業者および認定農業者を志す若手農業者を対象に、経営能力の向上と地域に根差したリーダーの養成を目的として、1期2か年を学習期間とする「農業塾」を開催しています。
- 目まぐるしく変化する農業情勢や道央地域における農業の現状と課題、最新の技術などについて、外部の識者を塾長として招き、様々な観点から研鑽を深めています。



## 担い手の育成支援体制

新規就農をはじめ農用地の売買や貸借、法人化などの相談について一元的な対応をするため、地域ごとにワンストップ支援窓口となる「担い手支援センター」を設置し、業務に当たっています。



# 主な業務内容

## 1 担い手別の育成支援事業

新規就農対策として、道央管内で就農希望する者を受け入れ、1年目は公社のトレーニング農場で基礎技術や知識を学び、2・3年目は先進農家で実践的な研修をするとともに、地域との“つながり”構築が図られるよう、関係機関と連携しながら着実な就農を支援しています。

また、農業後継者への支援として、地域の担い手としての資質向上を目的に、2年間農協の準職員として雇用し、農協業務について理解を深めたり、就農後の経営を見据え先進農家での実践を行うといったニューファーマー育成研修を実施しています。

さらに、若手農業者の経営能力向上とリーダーシップ醸成を目的に、1期2か年で様々な講義や視察を通し、地域農業のあり方を学ぶ「道央農業塾」を開催しています。

このほか、地域の農業者を対象に、営農技術や経営管理等に関する研修会の開催、農業法人化や経営継承等に関する各種相談・支援活動を行うなど、多様な担い手の育成支援を行っています。

## 2 農用地の利用調整事業

農業者のニーズに応じた農用地の売買や賃貸借に関する相談対応を行うとともに、各種制度を活用し、管内4市が策定する「人・農地プラン」の実現に向けた支援を行うほか、地域の合意を踏まえ、中核的担い手や新規就農者が意欲的に営農を行うことができるよう農用地の有効利用を推進しています。

## 3 生産性向上と安全安心な農産物生産支援事業

農業者や関係団体などからの要望により、消費者ニーズに合わせた新規作物の導入や生産性向上、さらには安全安心に向けた肥料や農薬の効果など様々な試験に協力することにより、地域農業の維持・発展を支援しています。

## 4 農業労働力確保支援事業

JA道央が行う無料職業紹介事業である農作業人材確保支援事業のうち、労賃計算業務を受託し、確実な賃金の支払いを支援しています。

また、人材不足の解消に向けて、様々な視点からの提案を行います。

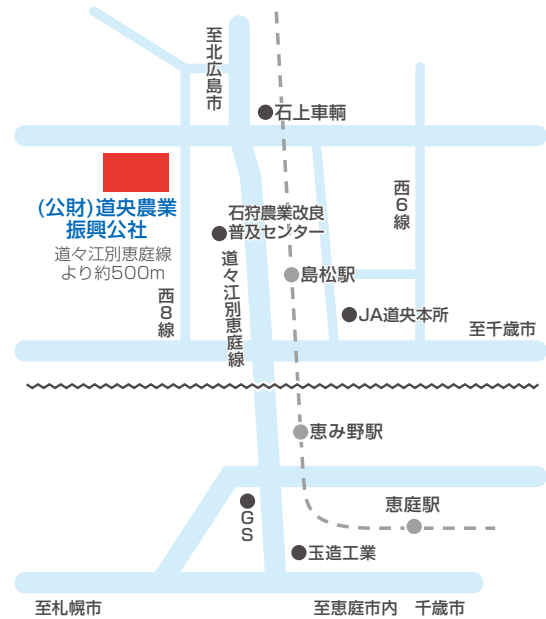
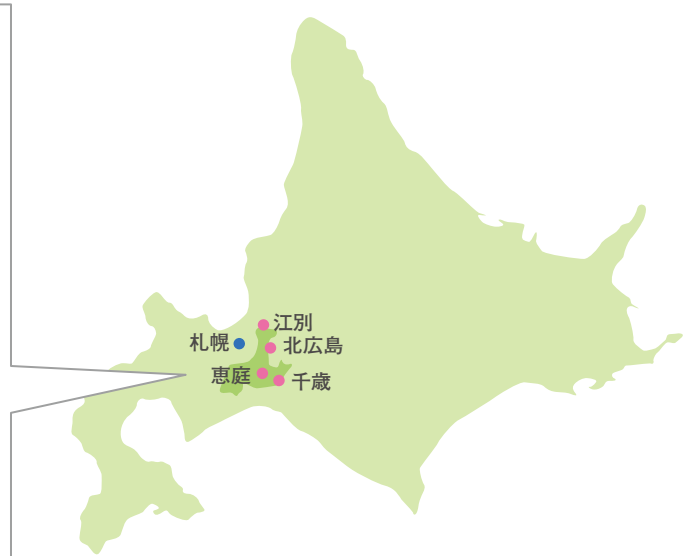
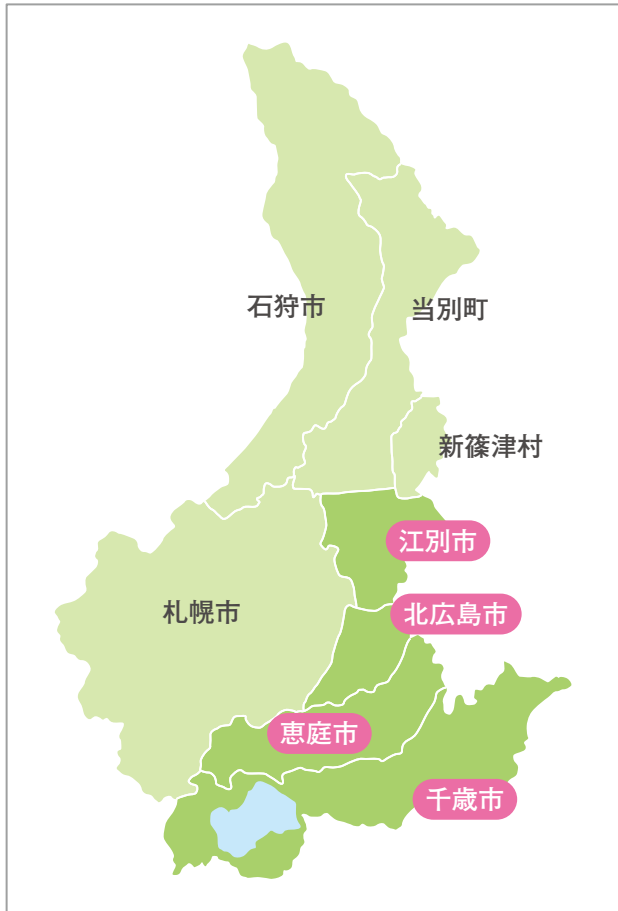
## 5 酪農・畜産関連の受託事業

恵庭市・千歳市の市営牧場の運営管理を受託することにより、地域の酪農家が行う作業の軽労化を図り、乳量・乳質の向上に集中できるよう支援しています。

## 6 その他目的を達成するために必要な事業

食農活動や農業体験の場を提供することにより、農業の果たす役割についての学習支援を行うとともに、農業と福祉をつなぐ「農福連携」に関する活動を通じ、「農業の多面的機能の発揮」に寄与しています。

## アクセス



## 交通機関

- ◎ 新千歳空港 → JR(快速/約13分) → 恵庭駅  
→ JR(普通/約6分) → 島松駅
- ◎ 札幌駅 → JR(快速/約15分) → 北広島駅  
→ JR(普通/約5分) → 島松駅

※島松駅から当会社までは1.0km、車で2分

公益財団法人 **道央農業振興公社** 〒061-1356 恵庭市西島松41番2 TEL : 0123-39-6057  
FAX : 0123-39-6058 URL : <http://www.douou-nsk.jp>

### ■ 江別担い手支援センター

〒067-0016 江別市6条8丁目1番地 JA道央江別事務所内 TEL : 011-391-0429

### ■ 千歳担い手支援センター

〒066-8515 千歳市高台5丁目1番15号 JA道央千歳事務所内 TEL : 0123-49-7061

### ■ 恵庭担い手支援センター

〒061-1352 恵庭市島松仲町2丁目 10-14 JA道央恵庭事務所内 TEL : 0123-36-1298

### ■ 北広島担い手支援センター

〒061-1121 北広島市中央1丁目2-1 JA道央営農生産事業本部内 TEL : 011-372-0012